

第138回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名											
経営形態	法人・個人	資本金				万円	電話			—	
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)					年	従業員数			人(うち非正規)	人
※1 業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造										
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設										
	観光関係の売上げ：1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。										
主な製品，商品，サービス											
御記入者	部課：			役職：			氏名：				

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。 ※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	令和3年1月～3月の実績 (前年の同期と比較して)			令和3年4月～6月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和3年1月～3月の実績)
(令和3年4月～6月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 為替動向(円安・円高等) | 14 その他() | |

(裏面以降も御記入ください。)

【付 帯 調 査】令和3年度の設備投資計画について

令和3年度の貴社の設備投資計画についてお尋ねします。(非製造業の方も御回答ください。)

- A. 令和3年度に貴社は設備投資を計画していますか。
該当するものを下記から選び○印を付けてください。
また、「3 計画はない」を選択された方はその理由を記入してください。

1 計画がある	2 実施を検討中
3 計画はない (理由:)

- B. 「計画がある」又は「実施を検討中」と回答された方にお尋ねします。
設備投資の目的はどのようなものですか。
該当するものを下記から選び、○印を付けてください。(複数回答可)
また、回答いただける範囲で、具体的な設備投資の内容と設備投資を行う理由を記入してください。

1 能力増強	2 維持・補修・更新	3 省力化・合理化	4 新規事業・新製品
5 新店舗開設	6 研究開発	7 ウィズコロナ・アフターコロナへの対応	
8 その他()		

具体的な設備投資の内容:

(例)新しい生産機械を導入する。新しい研究機材を導入する。
海外で生産を増強する。

設備投資を行う理由

(例)現在稼働中の設備が耐用年数を過ぎたため、新しい設備の導入が必要になった。
新規分野を開拓するため、新商品を研究・開発が必要なため。

- C. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。
投資額の対前年度伸び率はどの程度を予定していますか。
該当するものを下記から選び、○印を付けてください。また、その理由を記入してください。

1 前年度と同じ	2 1～9%の増	3 10～19%の増	4 20%以上の増
5 1～9%の減	6 10～19%の減	7 20%以上の減	8 不明

理由:

- D. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。
計画はいつ頃を予定していますか。該当するものを下記から選び、○印を付けてください。

1 4月～6月期	2 7月～9月期	3 10月～12月期	4 令和4年1月～3月期
----------	----------	------------	--------------

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

当調査票は、同封の返信用封筒、もしくは業務委託先の(株)東京商工リサーチ京都支店(FAX:211-4788)にご返送願ひます。

なお、内容についてのお問い合わせは、京都市 産業観光局 産業企画室(TEL:222-3325)まで、お願ひいたします。